

■一般会計と特別会計の決算額

会計区分		歳入	歳出	差引収支
一般会計		(+ 33 億 5,178 万円) 208 億円	(+ 34 億 1,504 万円) 202 億 5,112 万円	(▲ 6,326 万円) 5 億 4,888 万円
特別会計	国民健康保険事業	24 億 5,629 万円	24 億 4,121 万円	1,508 万円
	国保大正診療所	4 億 3,813 万円	4 億 3,783 万円	30 万円
	国保十和診療所	1 億 1,397 万円	1 億 1,367 万円	30 万円
	大道へき地診療所	885 万円	871 万円	14 万円
	後期高齢者医療事業	3 億 2,835 万円	3 億 2,452 万円	383 万円
	介護保険事業	27 億 2,544 万円	25 億 9,499 万円	1 億 3,045 万円
	特別養護老人ホーム窪川荘	3 億 8,289 万円	3 億 6,953 万円	1,336 万円
	特別養護老人ホーム四万十荘	2 億 5,447 万円	2 億 5,447 万円	0 万円
	農業集落排水事業	2,375 万円	2,375 万円	0 万円
	下水道事業	4,658 万円	4,658 万円	0 万円
全会計合計 [単純合算]		(+ 34 億 5,177 万円) 275 億 7,872 万円	(+ 34 億 4,604 万円) 268 億 6,638 万円	(+ 573 万円) 7 億 1,234 万円

■企業会計（公営企業）の決算額

水道事業会計	収入	支出	差引収支
収益的収支（消費税抜き）	5 億 5,763 万円	4 億 9,445 万円	6,318 万円
資本的収支（消費税込み）	1 億 889 万円	3 億 8,111 万円	▲ 2 億 7,222 万円

※〔資本的収支〕差引収支不足額は過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てんしています。

■基金（一般会計と特別会計）残高

会計	基金名	金額	会計	基金名	金額
一般会計	一般会計財政調整基金	42 億 1,613 万円	一般会計	森林環境整備基金	1 億 3,106 万円
	減債基金	10 億 7,730 万円		土地開発基金	2 億 1,369 万円
	施設など整備基金	15 億 1,370 万円		奨学金貸付基金	1 億 2,161 万円
	地域福祉基金	2 億 7,760 万円		県証紙売捌基金	69 万円
	地域振興基金	2,498 万円		一般会計小計	(+9 億 5,869 万円) 123 億 3,451 万円
	ふるさと創生基金	1 億 3,430 万円	特別会計	国保会計財政調整基金	2 億 731 万円
	中山間ふるさと・水と土保全基金	2,284 万円		国保会計高額医療費貸付基金	1,058 万円
	ふるさと支援基金	23 億 3,274 万円		国保大正診療所基金	0 万円
	農業集落排水事業振興基金	683 万円		国保十和診療所基金	0 万円
	新しい町づくり基金	3,007 万円		介護会計財政調整基金	1 億 7,945 万円
	合併特例債まちづくり基金	16 億 1,850 万円		特別養護老人ホーム窪川荘基金	1 億 1,016 万円
	園芸作物価格安定基金	8,500 万円		特別養護老人ホーム四万十荘基金	0 万円
	過疎地域自立促進特別事業基金	3 億 728 万円	全会計合計		(+10 億 3,275 万円) 128 億 4,201 万円
	防災まちづくり基金	2 億 883 万円			
	学校施設など整備基金	1,136 万円			

■町の財産

- 土地 …… 2,416 万 6,442 ㎡
(うち山林 …… 1,412 万 8,352 ㎡)
 - 建物 …… 19 万 7,859 ㎡
 - 推定立木 …… 67 万 7,108 ㎡
 - 地上権 …… 3,394 ㎡
- 有価証券 …… 105 万円
 - 出資権利 …… 5 億 2,842 万円
 - 債権 …… 1 億 9,853 万円
 - 物品 (自動車など) …… 237 台
 - 物品 (美術品など) …… 743 点

■一般会計と特別会計の決算額

会計区分		町債残高	実質負担額※
一般会計		(+ 1,016 万円) 185 億 7,753 万円	(▲ 1 億 4,647 万円) 41 億 8,388 万円
特別会計	国保大正診療所	2 億 7,099 万円	2 億 729 万円
	国保十和診療所	2,480 万円	744 万円
	農業集落排水事業	1 億 290 万円	5,073 万円
	下水道事業	1 億 9,933 万円	9,879 万円
水道事業会計		37 億 6,368 万円	29 億 3,764 万円
全会計合計		(▲ 3 億 7,733 万円) 229 億 3,923 万円	(▲ 3 億 9,617 万円) 74 億 8,577 万円

(注) 各表の上段（ ）書きは、一般会計合計並びに全会計合計の前年度からの増減額を表しています。
全会計合計の前年度数値には、令和元年度をもって水道事業会計に統合した「簡易水道事業特別会計」分を含んでいます。



まちの家計簿を公表します

令和2年度

決算報告

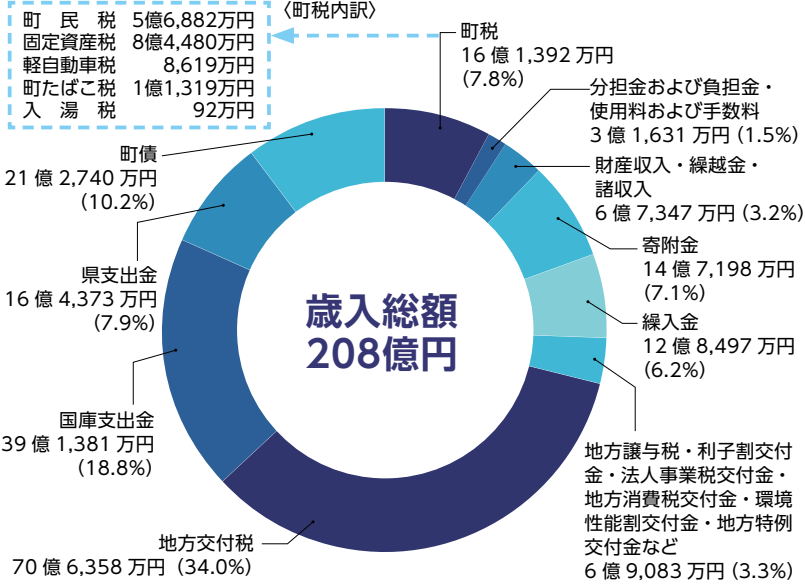
町民一人あたりに使われるお金（年間）	目 的 別	町民一人あたり
	議会費	7,020 円
	総務費	297,902 円
	民生費	322,579 円
	衛生費	73,819 円
	労働費	143 円
	農林水産業費	91,073 円
	商工費	50,618 円
	土木費	112,105 円
	消防費	56,181 円
	教育費	74,829 円
	災害復旧費	21,566 円
	公債費	134,946 円
	諸支出金	0 円
	計	1,242,781 円

(令和3年3月31日現在の人口) 16,295 人

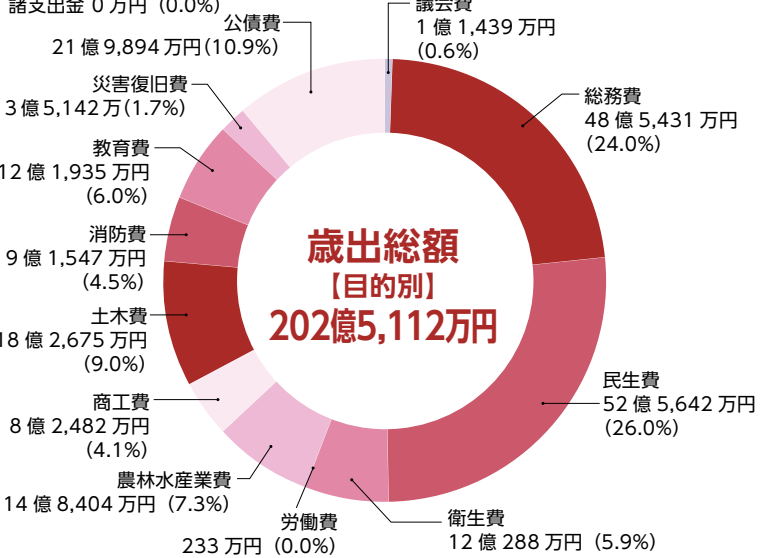
令和2年度の 主要事業

- 新型コロナウイルス感染症対応関連事業
 - 家地川地域活性化拠点施設整備事業
 - ふるさと支援推進事業（ふるさと納税）
 - 移住・定住促進事業（住宅整備や補助金など）
- 人材育成推進事業（町営塾、ビジネスコンテストなど）
 - 子育て支援事業（出産祝金など）
 - 高齢者対策（在宅福祉事業、配食サービスなど）
 - 町道改良および橋梁点検・耐震化事業

一般会計歳入



一般会計歳出



【一般会計の決算状況】

歳入総額は 208 億円、歳出総額は 202 億 5,112 万円で、歳入歳出差引額は 5 億 4,888 万円となり、さらに翌年度へ繰り越すべき財源 1 億 5,370 万円を除いた実質収支は 3 億 9,518 万円の黒字となりました。

合併から 15 年目となった令和2年度は、歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響により、国庫支出金において、特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの補助金などが大幅な増となったため、23 億 4,327 万円の増額となり、寄附金でもふるさと支援寄附金で巣ごもり需要などにより大幅に増となったため 5 億 828 万円の増額となりました。また、地方交付税において、新たに創設された地域社会再生事業費の増や幼児教育・保育の無償化に伴う算定などによる基準財政需要額の増により普通交付税が増となったため、2 億 875 万円の増額となっています。歳出では、特別定額給付金や雇用労働継続支援助成事業などの新型コロナウイルス感染症対応関連事業の増により補助費などで 20 億 7,564 万円の増加となり、町道改良および橋梁点検・耐震化事業や家地川地域活性化拠点施設整備事業、小鳩保育所建設事業などの大型建設事業の実施により普通建設事業費で 4 億 3,341 万円の増加となっています。また、ふるさと支援寄附金の増に伴い積立金で 5 億 2,634 万円の増加となったほか、会計年度任用職員制度の開始に伴い人件費で 3 億 1,457 万円の増加となっています。

この結果、前年度の決算額と比較して歳入で 33 億 5,178 万円・19.2%の大幅な増加、歳出で 34 億 1,504 万円・20.3%の大幅な増加となりました。

また、町の預金である基金残高は、前年度末から 9 億 5,869 万円増加し 123 億 3,451 万円となる一方で、繰上償還を実施したものの町の借金である地方債残高は前年度末から 1,016 万円増加し 185 億 7,753 万円となっています。

詳細については、町ホームページ「四万十町の財政状況」コーナーで公表しています。



注) 歳出決算の表示方法として、「目的別 ※1」と「性質別 ※2」の2種類がありますが、一般会計決算では「目的別」のみで表示しています。
※1 目的別 … 予算科目「款」の分類別
※2 性質別 … 地方財政状況調査による分類別